

## 産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 17 日

熊本県知事 殿

提出者

住所 熊本県球磨郡多良木町大字多良木144-1番地

氏名 味岡建設株式会社 代表取締役 味岡俊彦

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0966-42-2444

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	味岡建設株式会社
事業場の所在地	熊本県球磨郡多良木町大字多良木144-1番地
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 31 日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	70億万円(令和5年度)
③ 従業員数	139名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 ( 5 年度 ) 実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず
	排出量	t	6.73 t	1.10 t	t	t	93.88 t	3.02 t	592.63 t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	がれき類	石膏ボード	石綿等含有廃棄物(安定型)	その他のがれき類(安定型)	混合(管理型・水銀使用製品含む)
	排出量	5.58 t	674.38 t	38.82 t	17,758.87 t	157.11 t	55.01 t	760.93 t	184.36 t
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず
	排出量	t	6.00 t	0.00 t	t	t	50.00 t	2.00 t	600.00 t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	がれき類	石膏ボード	石綿等含有廃棄物(安定型)	その他のがれき類(安定型)	混合(管理型・水銀使用製品含む)
	排出量	1.00 t	20.00 t	15.00 t	10,000.00 t	6.00 t	5.00 t	15.00 t	50.00 t
(今後実施する予定の計画)									

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)								
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)								

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（5年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
② 計画	産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	がれき類	石膏ボード	石綿等含有廃棄物(安定型)	その他のがれき類(安定型)	混合(管理型・水銀使用)
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	7,620.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
① 現状	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
② 計画	産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートく	がれき類	石膏ボード	石綿等含有廃棄物(安)	その他のがれき類(安)	混合(管理型・水銀使用)
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	3,000.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
(今後実施する予定の計画)									

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（5年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
② 計画	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	がれき類	石膏ボード	石綿等含有廃棄物(安定型)	その他のがれき類(安定型)	混合(管理型・水銀使用)
① 現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	3,092.90 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
① 現状	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
② 計画	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	がれき類	石膏ボード	石綿等含有廃棄物(安定型)	その他のがれき類(安定型)	混合(管理型・水銀使用)
① 現状	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	4,000.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
(今後実施する予定の計画)									

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（5年度）実績】										
① 現状	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00
② 計画	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00
（これまでに実施した取組）										
（今後実施する予定の計画）										

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

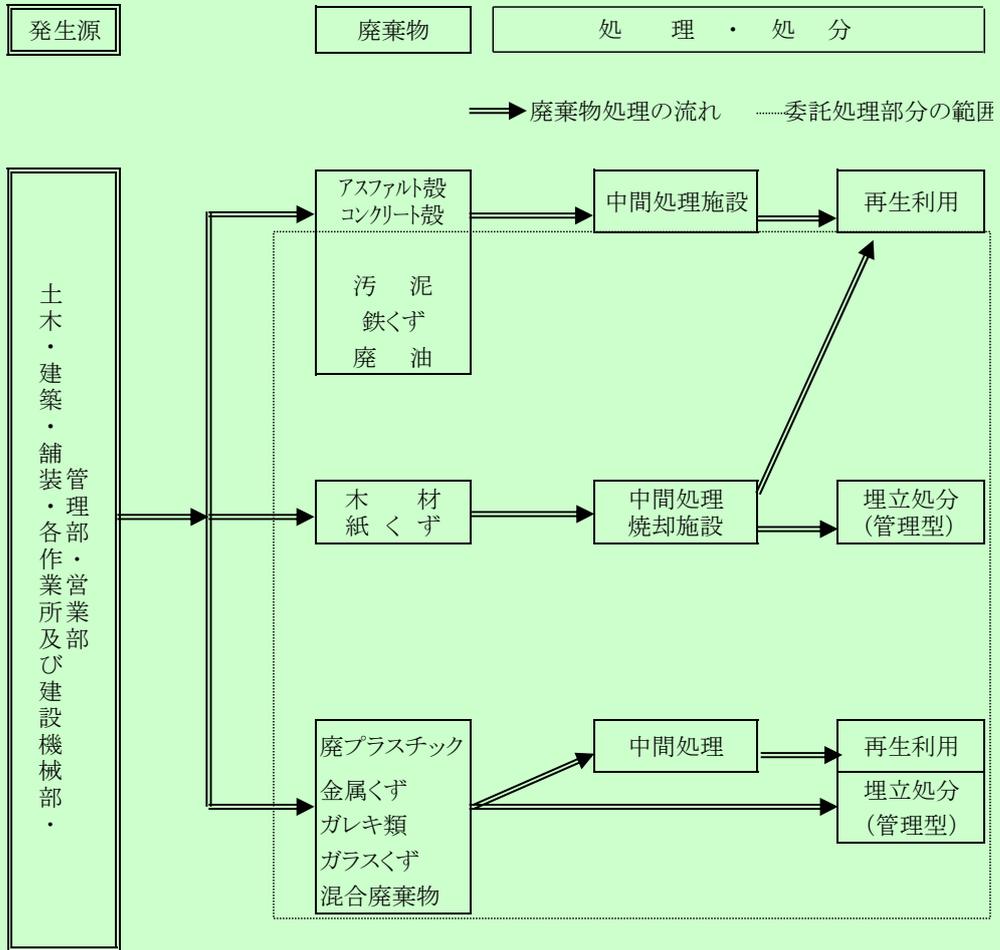
【前年度（5年度）実績】																
① 現状	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず							
	全処理委託量	0.00	t	6.73	t	1.10	t	0.00	t	0.00	t	93.88	t	3.02	t	592.63
優良認定処理業者への処理委託量		t		t	1.10	t		t		t	23.25	t	0.51	t	37.91	t
再生利用業者への処理委託量		t	6.73	t		t		t		t	70.63	t		t	554.72	t
認定熱回収業者への処理委託料		t		t		t		t		t		t	2.51	t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t
② 計画	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず							
	全処理委託量	5.58	t	674.38	t	38.82	t	17,758.87	t	157.11	t	55.01	t	760.93	t	184.15
優良認定処理業者への処理委託量	0.25	t	124.00	t	1.27	t	68.40	t	10.70	t		t		t	60.17	t
再生利用業者への処理委託量	5.58	t		t	17.31	t	7,045.97	t	0.81	t		t	760.93	t	123.98	t
認定熱回収業者への処理委託料		t	550.38	t		t		t		t		t		t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t
（これまでに実施した取組）																
（今後実施する予定の計画）																

① 計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず
	全処理委託量	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	50.00	3.00	600.00
	優良認定処理業者への処理委託量			1.00			25.00	1.50	50.00
	再生利用業者への処理委託量		5.00				25.00	1.50	550.00
	認定熱回収業者への処理委託料								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
	産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートく	がれき類	石膏ボード	石綿等含有廃棄物(安定型)	その他のがれき類(安定型)	混合(管理型・水銀使
	全処理委託量	1.00	20.00	15.00	10,000.00	6.00	5.00	15.00	50.00
	優良認定処理業者への処理委託量		5.00	5.00	500.00	2.00	1.00	5.00	30.00
	再生利用業者への処理委託量	1.00	15.00	10.00	9,500.00	4.00	4.00	10.00	20.00
	認定熱回収業者への処理委託料								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
(今後実施する予定の取組)									
※事務処理欄									

備考

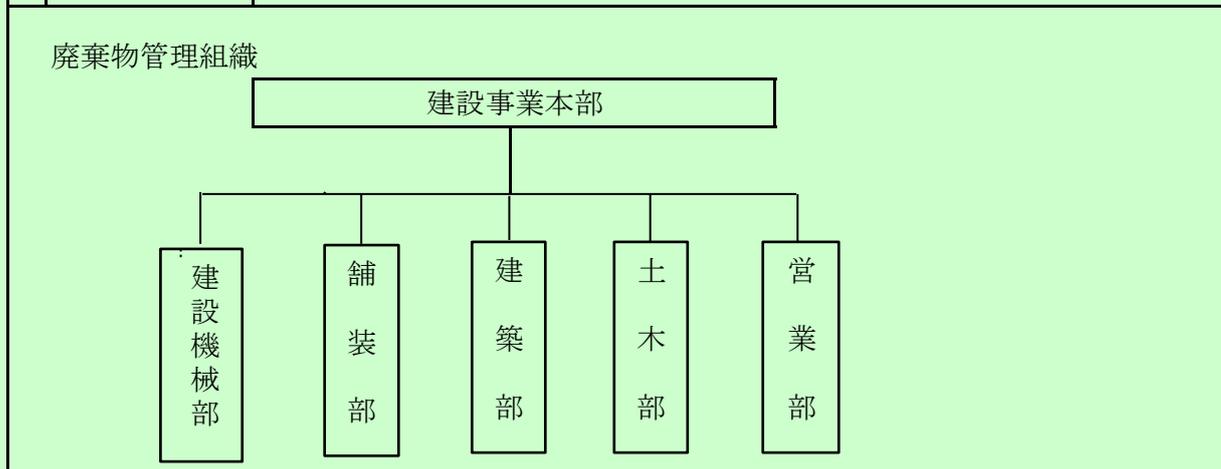
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

### 廃棄物処理フローシート(現状)



(1) 責任者及び管理組織図

統括責任者	所 属： 建設事業本部 職・氏名：取締役副社長 味岡 謙二郎
廃棄物担当	組織名： 建設事業本部 職・氏名：土木部長 新堀 淳 組織人数：6人（土木部長・建築部長・舗装部長・建設機械部長・管理部長・営業部長）
役割	工場環境管理委 ○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制,再生利用,中間処理,適正処理の推進,計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長-取締役常務・委員-各部長 ・事務局-建設事業本部管理課
	廃棄物処理統括責任者 ○廃棄物処理方針の策定 ○工場の廃棄物管理規定の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理担当部長 ○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善作の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処理業者、再生利用業者の調査,選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理 ○監督官庁への各種報告 ○社員,関連会社に対する教育・啓発 ○その他関係する事項



(2) 管理体制の強化

①管理体制(組織)

各部署と協力し、廃棄物処理に対応するための横断的な組織を編成する。  
これには各部長及び担当部署の参画を図る。

(3) 教育・研修

発生する廃棄物の種類、発生状況、処理方法、処理に関する留意事項を整理し、  
作業員等に定期的に教育・研修等を行う。

- ・ 管理職環境管理研修

課長級の職員を対象として、作業所等において発生する産業廃棄物の管理、作業所等において、排出される排ガスや排水の管理に係る法制度について、大幅な改正が行われる毎に行う研修制度。

- ・ 廃棄物処理基礎研修

全ての作業員及び関係業者を対象として、廃棄物関係法令、関係官庁の指導方針を周知、徹底するための教育・研修制度。

#### (4) 情報公開

廃棄物処理に関する信頼性を確保するため廃棄物の発生、分別、再生利用状況について情報の公開に努める。

第 3 面 産業廃棄物の排出の抑制、分別、再生利用に関する事項 について

(1) 基本的事項

- ① 産業廃棄物の適正処理を確保するため、関連する法令、その他の規則を遵守するとともに行政の環境施策に協力する。
- ② 発生した産業廃棄物は自ら処理することを原則とし、処理業者に委託する場合であっても、収集運搬から処分に至るまで、確認し的確に管理する。
- ③ 最終処分量の削減、再生利用の拡大等について、数値目標及びその達成時期を定め実施する。また、これら処理に関する目標及び計画は、定期的に必要を見直しを行う。
- ④ 廃棄物の処理について次に掲げる事項を実施し、また、関連会社にも必要な指導を行う。

発生抑制 ・発生抑制を考慮した作業方法を検討する。

再生利用 ・資源化利用を推進する。  
・再生利用ルートを確保する。

中間処理 ・中間処理を推進する。

そ ・処理内容を確認し、処理業者と適正な委託契約を締結する。  
・特別管理産業廃棄物の適正処理を確保する。

(2) 目標の設定

作業所において廃棄物の発生抑制、分別、再生利用、中間処理の強化が必要となっており、また各作業所は特に廃棄物の抑制、直接再生利用が重要課題でありコスト削減の面からも対応する必要がある。

以上の事から自社の環境マニュアルに基づき、環境目的及び目標の設定、見直しの手順を定めることにより、組織の事業活動が与える影響を、改善する事を目的とし目標の設定を、行なうものとする。

<その他の取組>

- ・ 廃棄物の処理において、処理状況、維持管理状況、周辺状況の定期的な確認。
- ・ 廃棄物の処理において、アニフェスト伝票の管理を徹底する。

(3) 廃棄物の処理に係る情報の収集・管理

県、市町村の「産業廃棄物再生利用情報ネットワーク」への参画

本社のISO品質管理室において定期的に廃棄物関係法令や廃棄物の処理技術について情報を収集・取りまとめを行い、各作業所に情報提供を行う。これらの情報はすべての社員に社内メール、又は掲示板を通じて情報提供される。

(4) 中長期的課題

① エコアクション21システム運用

本社(組織)・作業所におけるエコアクション監査システムの運用により、自社独自の、環境方針制定, 展開及び見直しを定めることにより、システムが、有効に機能すること、及び継続的に改善される事を目的とする。  
又、業界団体の活動への参加を目指す。

② 自主管理基準の設定

作業所における自主的な管理基準(環境目的・目標)を設定し、環境管理レベルの向上を図る。

③ 環境に係る社会活動への積極的な参加

環境に配慮した製品等の展示など環境イベントへの参加・協力を積極的に進める。

産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	味岡建設株式会社 代表取締役 味岡俊彦	提出者の住所	熊本県球磨郡多良木町大字多良木144-1番地
事業場の名称	味岡建設株式会社	事業場の所在地	熊本県球磨郡多良木町大字多良木144-1番地
内容年度	令和 6 年度		

(単位:トン)

廃棄物の種類	現状 ／ 計画	排出量  A	自社内での処理状況				委託先での処理状況				
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量			
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J
燃え殻	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
汚泥	現状	6.73	0.00	0.00	0.00	0.00	6.73	0.00	6.73	0.00	0.00
	計画	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6.00	0.00	5.00	0.00	0.00
廃油	現状	1.10	0.00	0.00	0.00	0.00	1.10	1.10	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
廃酸	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃アルカリ	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック	現状	93.88	0.00	0.00	0.00	0.00	93.88	23.25	70.63	0.00	0.00
	計画	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00	50.00	25.00	25.00	0.00	0.00
紙くず	現状	3.02	0.00	0.00	0.00	0.00	3.02	0.51	0.00	2.51	0.00
	計画	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00	1.50	1.50	0.00	0.00
木くず	現状	592.63	0.00	0.00	0.00	0.00	592.63	37.91	554.72	0.00	0.00
	計画	600.00	0.00	0.00	0.00	0.00	600.00	50.00	550.00	0.00	0.00
繊維くず	現状	5.58	0.00	0.00	0.00	0.00	5.58	0.25	5.58	0.00	0.00
	計画	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	0.00
金属くず	現状	674.38	0.00	0.00	0.00	0.00	674.38	124.00	0.00	550.38	0.00
	計画	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	20.00	5.00	15.00	0.00	0.00
ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	現状	38.82	0.00	0.00	0.00	0.00	38.82	1.27	17.31	0.00	0.00
	計画	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	15.00	5.00	10.00	0.00	0.00
がれき類	現状	17,758.87	7,620.00	0.00	3,092.90	0.00	17,758.87	0.00	7,045.97	0.00	0.00
	計画	10,000.00	3,000.00	0.00	4,000.00	0.00	10,000.00	500.00	9,500.00	0.00	0.00
石膏ボード	現状	157.11	0.00	0.00	0.00	0.00	157.11	68.40	0.81	0.00	0.00
	計画	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6.00	2.00	4.00	0.00	0.00
石綿等含有廃棄物(安定型)	現状	55.01	0.00	0.00	0.00	0.00	55.01	10.70	0.00	0.00	0.00
	計画	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5.00	1.00	4.00	0.00	0.00
その他のがれき類(安定型)	現状	760.93	0.00	0.00	0.00	0.00	760.93	0.00	760.93	0.00	0.00
	計画	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	15.00	5.00	10.00	0.00	0.00
混合(管理型・水銀使用製品含む)	現状	184.36	0.00	0.00	0.00	0.00	184.15	60.17	123.98	0.00	0.00
	計画	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00	50.00	30.00	20.00	0.00	0.00
合計	現状	20,332.41	7,620.00	0.00	3,092.90	0.00	20,332.21	327.56	8,586.66	552.89	0.00
	計画	10,770.00	3,000.00	0.00	4,000.00	0.00	10,771.00	625.50	10,145.50	0.00	0.00